

令和4年度  
小学校教育課程編成の手引  
【各教科等編】

---

**総合的な学習の時間における  
1人1台端末を活用した  
「個別最適な学びと協働的な学び」**

---

北海道教育委員会

# 総合的な学習の時間における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」（小学校）

## 1 単元の概要

学 年：第5学年

単 元 名：「わたしたちのふるさと未来図」28時間扱い

単元の目標：ふるさと未来図を制作する活動を通して、地域の抱える環境問題や解決策等について考え、持続可能な暮らしの在り方について理解するとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようとする。

## 2 事例におけるICT活用のポイント

- ・個人がデジタルカメラ等で記録するなど手軽に調査し、多様で多量な情報を収集することができます。
- ・取材活動の際は、インタビュー内容を繰り返し再生可能なデータで保存し、素早く確認することができます。
- ・収集した情報を適切に整理・保存・集積することで、情報の二次利用（整理・分析、まとめ・表現）を効率的に進めることができます。

## 3 使用したソフトや機能

- ・写真撮影・画像編集・提示機能
- ・学習支援ソフトのファイル共有機能
- ・プレゼンテーションソフト

### 【参考資料】

- ・今、求められる力を高める  
総合的な学習の時間の展開（小学校編）  
(文部科学省)



# 総合的な学習の時間における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」（小学校）

## 4 1人1台端末の活用例

### 【ICTの活用場面①】



#### 【学習場面】

- ・3つのグループ（「まち・海」「森」「川」）に分かれてフィールド調査を行い、地域のよさや課題であると自ら考える場所を撮影、記録します。

#### 【留意事項】

- ・フィールド調査の前に、交通ルールや調査エリアの確認、撮影におけるプライバシー保護の観点（表札や人の顔、車両ナンバーなどプライバシーを侵害するおそれがあるものは撮影しない等）について指導します。

### 【ICTの活用場面②】



#### 【学習場面】

- ・個別に撮影した写真を共有し、地域のよさや課題について、グループで意見交流をして地図上に整理します。

#### 【留意事項】

- ・蓄積した情報の取り出しや共有をスムーズに行うことができるよう、フィールドワークで収集した情報をコンピュータのフォルダに適切に整理・保存します。

課題の設定

情報の収集

整理・分析

まとめ・表現

# 総合的な学習の時間における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

## ①探究のプロセスを踏まえ、目的や状況に応じた活用

### 【課題の設定】

体験活動などを通して、課題を設定し、課題意識を高める際にICTを活用すると、グローバルな課題やローカルな課題など、個に応じた課題設定が可能になります。

### 【情報の収集】

必要な情報を取り出したり収集したりする際にICTを活用すると、多様な情報、多量な情報などを、いつでも、どこでも、素早く、手軽に調査し収集することが可能になります。

### 【整理・分析】

収集した情報を整理したり分析したりして思考する際にICTを活用すると、デジタルデータを検索、分析などして情報を再構成することが可能になります。

### 【まとめ・表現】

自分の考えなどをまとめ、表現する際にICTを活用すると、校内に加え、国内外への多様な発信、手軽な制作と加工の繰り返し、成果物の継続的な蓄積が可能になります。

## ②時間的・空間的制約を超えた活用

ICTを活用することにより、時間や空間を問わずに音声・画像・データ等を蓄積・送受信できたり、距離に関わりなく相互に情報の発信・受信のやりとりが可能になります。ICTの特性を生かした単元構想の充実を図ることができます。



### 【参考資料】

- ・GIGAスクール構想のもとでの総合的な学習の時間の指導について（小学校）（文部科学省）

